

2020年度業務実績報告書

提出日 2021 年 1 月 18 日

1. 職名・氏名 教員・特任教授 大久保清子

2. 学位 学位 博士 専門分野 経済学
授与機関 福井県立大学、授与年月 2014年3月25日

3. 教育活動

(1) 講義・演習・実験・実習	
① 看護マネジメント実習（2単位（90時間）毎年実施）大学4年生（2015年～毎年）	
② 内容・ねらい（自由記述）	療養生活を送る人々の多様なニーズに対し、安全で効率的な看護を提供するために必要な看護サービスマネジメントの実際を学ぶことを目的とし看護組織の形態と機能について、看護組織員の役割と機能について、看護師への教育とキャリア支援の実際や組織における患者の安全管理システム、医療事故防止対策の実際を体験し理解する。また医療および看護の質確保と経済の両立の実際について理解する。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）	実習施設の看護部と連絡を密にしながら実習を進めている。学生の臨床での基礎知識となるように、病院組織および看護組織についての概要、および組織の目標等について、また実習する病棟の組織や機能、特徴などについて事前に説明を受けるように実習病院と交渉している。そしてチームの一員として看護サービスを体験し、医療安全対策に向けたカンファレンス等への参加することで、実際が深まるようにしている。実習終了後に、学生が各々の実習施設で体験したことをもとに報告会を行い、体験の共有化をはかり効果を高めている。
① 看護学原論（2単位（30時間）毎年実施）1年生（2015年～毎年）	
② 内容・ねらい（自由記述）	看護の歴史的変遷や保健・医療・福祉システムの現状を踏まえて、これからの看護を展望する。またナイチンゲール以降の看護理論に関する文献をもとに、看護のメタパラダイム（中心的概念）である人間・環境・健康・看護について考究するために、看護の基本となる概念をとらえ、看護観の確立を目指す。看護を実践し発展させるための思考能力を育成することで保健・医療・福祉システムにおける看護の役割を考える。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）	看護の歴史では、原始、古代、中世、近世における看護の特徴を、また近代や現代における看護への変遷に興味をもてるようPPTで図や写真等を多く使用し講義する。看護理論の変遷とともに保健・医療・福祉システムと看護活動が展望できるように進めている。
① 看護管理学（1単位（15時間）毎年実施）4年生（2015年～毎年）	
② 内容・ねらい（自由記述）	医療現場で実践される看護職の管理的機能やマネジメントについて理解し、その効果的な提供のための看護組織の構造や特徴、さらに、時代に対応した質の高い看護サービスや医療サービスを提供するための方策を看護管理の立場から考える。病院看護部の組織構造とその特徴や看護管理者の役割がわかり、マネジメントの要素とプロセスがわかる。質の高い看護サービスの提供を実践に結び付ける必要性がわかり、医療チームの協働や連携と看護職の日常的業務遂行上の管理的機能がわかる。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）	看護管理の変遷と看護管理学を学習する目的を理解した上で、看護マネジメントから看護サービスの質の管理と評価、看護の経営、看護における人的資源の活用や労働安全衛生、働

く環境整備等について臨床の現状と結びつけて講義している。	
① 卒業研究 (3 単位 毎年実施) (2015 年～2020 年)	
② 内容・ねらい (自由記述)	卒業研究では、自ら探求する態度と、研究能力の基礎を身につけることを目的とし、実習などの経験をふまえ、医療・健康に関する現象について、本人の興味があり取り組みたい研究課題を明確にしたうえで、文献検討・観察・調査・実践などの方法を用いて研究し、論文を作成する。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 (自由記述)	学生本人が興味あり望む研究をテーマとし、看護実践等からの問題意識を明確にし、さらに研究目的の焦点化ができるように支援。テーマにより倫理委員会の承認が必要な研究内容であれば書類整備の準備を早期から行う。そして研究目的に合った研究方法について理解し、研究を実施しその結果から考察を導くことができるよう研究の一連のプロセスを支援している。また一連の研究方法を理解することができるよう個別に対応している。研究に取り組めるように、病院に同行し協力体制をとり、まとめる段階では個別対応を行い支援している。 (2020 年 ; 3 名対応) 「臨床実習における看護学生のノンバーバルスキルと対人不安との関連」 「ストレスでの食生活と体重の増減の検討」 「病棟における看護師の腰痛とストレスの関連」
(2) その他の教育活動	
① 担当科目名 (単位数) 開講学校名 (2016 年～2020 年)	
「看護管理論」(2 コマ) 福井大学 認定看護師教育課程 (慢性呼吸器・手術室)	
「リーダーシップ論」(7 コマ) 福井大学 認定看護師教育課程 (慢性呼吸器・手術室)	
② 内容・ねらい (自由記述)	看護の専門性を向上させるための、看護職を惹きつける魅力ある病院づくりそのプロモーションとは何か、その構築にあたりリーダーシップについてわかる。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 (自由記述)	臨床現場での事例から、マグネットホスピタルに取り組む必要性和その実際について紹介。必要に応じてリーダーシップ型が選択でき実践する必要性を解説。
④ 本学における業務との関連性 (自由記述)	本学における業務との関連性はない。
講義	学術教養センター 教養ゼミ
	「人生 100 年時代を地域で支えるまちづくりを考える」
講義	「資源管理論 I」資源管理論 (2019 年～2020 年)
	大阪府看護協会 看護管理者教育課程ファーストレベル Zoom 3 回
講義	「ヘルスケアサービス管理論」「保健医療福祉サービス提供組織の仕組みと連携」
	富山県看護協会 看護管理者教育課程セカンドレベル (2010 年～2020 年)
講義	「看護管理概論」「看護専門職論 認定看護師」(2010 年～2020 年)
	青森県看護協会 看護管理者教育課程ファーストレベル 6 コマ
講義	「組織管理論」(2019 年～2020 年)
	福井県看護協会 看護管理者教育課程ファーストレベル 4 コマ

4. 研究業績

(1) 研究業績の公表	
① 著書	
1	「日本看護協会史 第 9 巻」 共著 2020 年 6 月 日本看護協会出版会 特定行為研修制度チーム医療推進会議から

2 「タスク・シフティングが成功する！パス活用術」 編著/共著 2020 年 3 月 10 日 メディカ出版 タスク・シフティングの必要性和今後の課題 2020. 3p8-14 【2 本】
① 学術論文（査読あり） 1 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師におけるワーク・ライフバランスと職業性ストレスとの関連 共著(髭美希 笠井恭子 <u>大久保清子</u>) 第 45 回日本脳卒中学会誌 2020. 8. 24 2 臨床における看護職のパワーハラスメントの経験と職務満足との関連 共著(福田裕子 笠井恭子 <u>大久保清子</u>) 第 24 回日本看護管理学会学術集会誌 2020. P32-11 3 臨床看護師における配置転換と自己効力感との関連 共著(伊藤由美子 笠井恭子 <u>大久保清子</u>) 第 24 回日本看護管理学会学術集会誌 2020. p32-3 4 中小規模病院の看護部長が看護師長への支援を通して自己成長を実感した対応の内容 共著(山下順子 笠井恭子 <u>大久保清子</u>) 第 24 回日本看護管理学会学術集会誌 2020. p13-2. 5 病棟看護師がとらえた師長の支援内容と組織風土との関連 共著(西島信子 笠井恭子 <u>大久保清子</u>) 第 24 回日本看護管理学会学術集会誌 2020. p33-2 6 PNS において新人看護師に関わる看護師の教育的役割遂行とバーンアウトとの関連 共著(坂口大介 笠井恭子 <u>大久保清子</u>) 第 24 回日本看護管理学会学術集会誌 2020. p24-4 【6 本】
② その他の論文 医療従事者が安心して自信を持って働けるように広い視野を持ってサポート 単著 日本医療企画「医療経営士」 2020. 5. 20 vol 071p27-28 【1 本】
③ 学会発表 1 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師における活動と職業性ストレスとの関連(口頭) 第 22 回医療マネジメント学会学術総会 2020. 8. 24 共同 (髭美希 笠井恭子 大久保清子) 2 PNS における新人教育と教育的役割遂行との関連 (口頭) 共同 (坂口大介 笠井恭子 大久保清子) 第 22 回医療マネジメント学会学術総会 【第 22 回医療マネジメント学会学術総会優秀演題賞受賞】 3 中小規模病院の看護部長が自己成長を実感した内容(口頭) 共同(山下順子 笠井恭子 大久保清子) 第 22 回医療マネジメント学会学術総会 4 臨床における看護職のパワーハラスメントの実態(口頭) 共同(福田裕子 笠井恭子 大久保清子) 第 22 回医療マネジメント学会学術総会 5 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師におけるワーク・ライフバランスと職業性ストレスとの関連(口頭) 共同(髭美希 笠井恭子 大久保清子) 第 45 回日本脳卒中学会 6 臨床における看護職のパワーハラスメントの経験と職務満足との関連 共同(福田裕子 笠井恭子 大久保清子) 第 24 回日本看護管理学会学術集会 7 中小規模病院の看護部長が看護師長への支援を通して自己成長を実感した対応の内容 共同(山下順子 笠井恭子 大久保清子) 第 24 回日本看護管理学会学術集会 8 病棟看護師がとらえた師長の支援内容と組織風土との関連 共同(西島信子 笠井恭子 大久保清子) 第 24 回日本看護管理学会学術集会 9 PNS において新人看護師に関わる看護師の教育的役割遂行とバーンアウトとの関連(口頭) 共同(坂口大介 笠井恭子 大久保清子) 第 24 回日本看護管理学会学術集会 10 中小規模病院における医師・看護師間の連携と退院支援実践との関連 (口頭) 共同 (木村理香 笠井恭子 大久保清子) 第 24 回日本看護管理学会学術集会 【10 本】
(2) 科研費等の競争的資金獲得実績
学内 KF 枠
(3) 特許等取得
無し

(4) 学会活動等
学会での役職など（学会名） 一般社団法人 日本看護管理学会 第24回学術集会企画委員（2018～2020） 日本医療マネジメント学会 評議委員（2017.7.6～2020）

5. 地域・社会貢献活動

一般社団法人 日本医療経営実践協会 理事	(2011.4.1～ 現在に至る)
福井県看護部長連絡協議会(設立発起)代表	(2010.5.20～ 現在に至る)
NPO 法人イージェイネット「働きやすい病院評価・認証」理事	(2014.7.1～現在に至る)
一般社団法人 日本看護業務研究会 代表理事	(2015.12.1～ 現在に至る)
福井県立病院経営評価委員	(2017.2.13～ 現在に至る)
福井県済生会病院地域医療連携運営委員	(2015.5.1～ 現在に至る)
日本看護協会「日本看護史第9巻」編集委員	(2019.1.21～ 2020.7)
一般社団法人 日本看護業務研究会 を設立 代表理事	(2015.12.4 承認～現在に至る)

6. 大学運営への参画

(1) 補職	
理事	(2019.4～ 現在に至る)
(2) 委員会・チーム活動	
看護学科カリキュラム検討委員会	(2015.9 ～現在に至る)
看護福祉学部教授会議	(2015.4 ～現在に至る)
看護福祉学部研究科会議	(2015.4 ～現在に至る)
看護学科会議	(2015.4 ～現在に至る)
看護教員会議	(2015.4 ～現在に至る)
看護専攻会議	(2015.4 ～現在に至る)
看護実習検討委員会	(2019.4 ～現在に至る)
公立大学法人 福井県立大学理事会議	(2019.4 ～現在に至る)
大学院看護学専攻（博士後期課程）設置 PT	(2019.9 ～ 2020.11)
コロナ対策本部会議	(2020.4 ～現在に至る)
(3) 学内行事への参加	
(4) その他、自発的活動など	